

飛び入り

TMT望遠鏡

高見英樹
国立天文台ハワイ観測所

TMT30m望遠鏡
サイトがマウナケアに決定！
2011建設開始、2018観測開始

日本、Caltech、UC、カナダ
(中国？、インド？)

建設費1300億：主鏡、望遠鏡、観測装置、インフラなどで寄与

すばるとの連携：すばるの広視野で見つけて、TMTで詳しく観測する

国立天文台のALMAの次の計画として認められた。

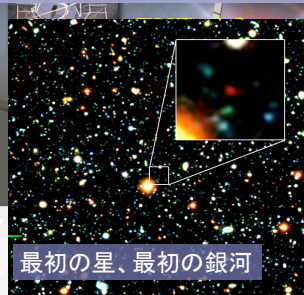
Corporation
nia Boulevard
nia 91125

THIRTY METER TELESCOPE

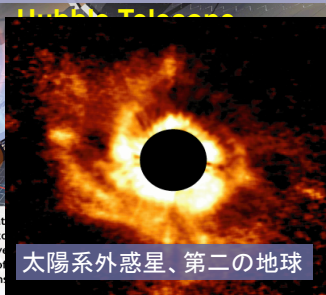
TMT30mの解像度 0.015秒角@2.2 μ m すばるの4倍

TMT 30m の感度

シーイングリミットでの観測 \sim 口径² すばる14台分
回折限界での感度(AO使用) \sim 口径⁴ すばる200台分！



最初の星、最初の銀河



太陽系外惑星、第二の地球

銀河・銀河系、星・惑星形成、太陽系

TMTの装置

初期装

複数の装置(4-5台目標)
を日本が国際協力で製作する

第二期

国内の検討とTMTとの
協議が始まっている

開発をサポートする体制も準備中

MIRES
中間赤外

TMT30m望遠鏡がハワイにできる(2018年)

日本は25%のシェアを持つ

国内望遠鏡、すばる望遠鏡、ALMAなどとの連携

サイエンス、観測装置などへの参加を

ぜひ意見、質問ください

関心のある方

全般：家、高見 (m.iye@nao.ac.jp, takami@naoj.org)

装置：柏川 (kashik@naoj.org)